

「秋」リハーサルを行いました

附中祭「秋」合唱フェスティバルが近づき、美しい歌声が校内に響き渡っています。

21日(火)の午後は、学年別にリハーサルを行いました。どの学年も、本番に向けて、演奏はもちろんのこと、移動や所作の練習にも真剣に取り組み、互いの演奏に大きな拍手を贈っていました。

特に、3年生は、生徒の言葉でリハーサルが始まり、ほとんど教師が指示することなく、移動・位置確認を主体的にスムーズに行っていました。3年生は、いろいろな指示や説明の後に、「はい」「ありがとうございました」としっかり反応します。また、運営部部長の坂口夏菜さんが行った各学級の演奏に対する助言は、とても的確な内容でした。この1時間の中に、3年生の多くの成長が感じられました。

さて、リハーサル後の3日間は、学級練習を通して、これまで以上にぐっとすてきな演奏に仕上がっていき、各学級集団が更に強く、温かくなっています。そして、当日、それぞれの彩り豊かな演奏会になることを楽しみにしています。



1年生 学年曲 「翼をください」



2年生 学年曲 「群青」



3年生 学年曲「大地讃頌」

附中祭「秋」合唱フェスティバル

演奏の指針 ～素敵な演奏になる10のこと

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>歌うための身体に関すること</p> <p>① 表情が明るく歌うための姿勢を意識した立ち方であること</p> <p>② 口が縦に開いており口蓋(口の中の天井)が上がっていること</p> | <p>発音や音程に関すること</p> <p>③ 鼻腔に入った歌声で全パートの音色が揃っていること</p> <p>④ 各パートが正確な音程で歌えていること</p> <p>⑤ 歌詞がきちんと届くこと</p> | <p>音楽表現に関すること</p> <p>⑥ フレー징が美しくフレーズの最後まで大事に歌えていること</p> <p>⑦ 強弱表現が立体的であり、曲の山がわかること</p> <p>⑧ 和音がきちんと鳴っていること</p> | <p>その他</p> <p>⑩ 合唱を通して学級に一体感があること</p> <p>⑨ 曲の情景や歌詞の内容が伝わってくる</p> |
|--|---|---|--|

すてきな演奏にする10のこと

←すてきな演奏に仕上げるために、生徒の考えを基に本年度作成されました。練習計画を立てるときや自己評価するときのチェック項目として、大いに活用しているようです。

※掲示物は、3年生の西嶋一晃さんが作成

今週の「生徒を励ます言葉」

いよいよ今週末は、秋合唱フェスティバル本番です。いま、あなた自身やあなたの学級はどのような状況にありますか。

さて、後期始業式での、刈山校長先生と濱崎前会長のお話を覚えていらっしゃいますか。私は、お二人の話に、合唱を素敵に仕上げるヒントを見つけてワクワクしました。私なりにその解釈を記してみます。

基の「ボク」は、視点への転換

明るく前向きな視点で大人たちの価値観を変え、周りの人を幸せにすることができた少女ボリアーナのお話の中に、選択する力を磨くことへの一言及があり、そんな状況にあっても、そのごとの良い面を見つけてみる…小さな選択の積み重ねが、あなたにとって、学級にとっても、後に少なからず影響を及ぼすように思います。

基の二 個人としての力を伸ばす

合唱はチーム戦ですが、究極は個人戦です。メンバー一人一人の気持ちの置きどころ、意識の高さ、そして、力量が演奏を大きく左右します。

歌は身体が楽器です。ですから、あなたがどのような気持ちで声を発するか、既習の知識や技能を駆使して、自分の身体から発する音をどれだけ磨けるかが大事なことになります。

あなたの歌声に、あなた自身の存在を感じて欲しいと願います。

音楽科 力田記

